

社会主義は自主の道 — 金日成主席はこれを世界に教えている

スペイン・バスク・チュチェ思想研究会副会長
ウナイ・バヨン・アランブル

20世紀の初め、歴史に残る方が誕生しました。

その時から 110 年が経った今、太陽節を迎えるながら、全世界の労働者階級は金日成主席を敬慕しています。

西側の労働者階級が、きりがないような 10 年以上の資本主義危機によって暗黒に陥っている時、朝鮮民主主義人民共和国の労働者、農民、知識人は、自分の知恵と力をあまねく発揮しています。

それは、金日成主席が、労働者、農民、知識人をはじめ広範な人民大衆が党のまわりに一心同体となって団結するとき、国は真の自由と独立、繁栄を遂げるようになるという思想を教えていたからです。

20世紀は、帝国主義、植民地主義に反対する諸国人民の闘争の世紀、資本主義諸国に反対する社会主义諸国の闘争の世紀でした。

今も、その闘争の旗印を高く掲げて進む国がまさに、朝鮮民主主義人民共和国であります。

帝国主義者から自主性を頼もしく守り抜いている朝鮮民主主義人民共和国は、世界の進歩的諸国の人々にとって希望の灯台となっています。

金日成主席の賢明な指導のもとに、朝鮮は科学的社会主义学説と祖国愛を正しく融合させたチュチェ思想の旗印を高く掲げて、党と人民の統一団結を成し遂げました。

金日成主席は、世界の進歩的諸国人民の偉業を支持する一方、朝鮮に人民大衆中心の社会主义を建設しました。

金日成主席が打ち出したすべての路線と政策が立派に具現されて、朝鮮民主主義人民共和国は、眞の独立国家、世界の被抑圧民族のモデルになりました。

金日成主席の指導のもとに、朝鮮人民はあらゆる拘束と従属を退ける能力があり、搾取者を放逐し、終息させることが可能であるだけでなく、必要なことであるということを世界に示しました。

金日成主席は次のように述べています。

「アメリカ帝国主義者は、世界各国人民が自主の道を進むのをもっとも恐れています」

金日成主席は、自主的に進むのは人民の利益に合うと教えました。

チュチェ思想が立派に具現された朝鮮民主主義人民共和国の現実は、金日成主席の教えが正確であるということをはっきりと実証しています。

全世界の勤労者は、チュチェ思想を創始し、朝鮮人民を自主と独立へと導いた金日成主席の賢明な指導に感謝を表しています。

自主と独立の道に沿って力強く進む朝鮮人民と全世界の人民にとって、太陽節は国際的な祝日となっています。

110 年前、歴史が世界のすべての被抑圧人民大衆が永遠に記憶する一人の同志を送ってくれたことにより、太陽節は全世界が慶祝する日となっています。